

福岡教区宣教司牧評議会



年の日本カトリック障害者連絡協議会福岡大会に...

いくつかのグループに分かれて分かち合う...

2026年2月1日に教区第7回宣教司牧評議会が開催...

さて、宣教司牧評議会の設置から3年が経ち、委員は今回をもって任期終了となる。

福岡教区創立100周年に向けて

2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が100周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。



福岡教区創立100周年を祝う。それは感謝と自己刷新の時である。1927年7月16日、福岡教区は長崎教区から独立して誕生した。

創立100周年という節目を有意義なものとするためには、まず教区の歩みを振り返る必要がある。なぜなら、現在の教区の姿は創立当時と大きく異なっているからである。

また私たち一人一人が、宣教のために召されていることを自覚し、日々の生活の中で福音に出会い、信仰の喜びを血液のように体の隅々まで行き渡らせていくことが求められている。

福岡教区には、命と引き換えに信仰を証した殉教者たちの足跡が数多く残されている。教区は創立100周年を祝うにあたり、各地の殉教者をたたえる教会を巡礼することを勧めている。

準備された巡礼スタンプノートは、教区内にちりばめられた殉教者の足跡を訪ね、そこで出会った生きてきた信仰の証を集めた記録であり、殉教者を通して示された神の恵みと力強さの証しの綴りである。

今年最初の教区全司祭集会が1月27日、カトリック大名町教会で開かれた。初めに、福岡教区として3つの嬉しい...

福岡教区司祭評議会

恵みに感謝する声が多く聞かれた。評議会は教区全体の動きを知り、分かち合いを通して横のつながりができる場である。

福岡教区全司祭集会

に要請があった。6. その他 ① 11月23日に福岡教区青年大会を催す予定。これに合わせ、11月21日より23日に韓国・仁川教区の青年との交流が予定されている。

区顧問会で承認され、2月1日の教区宣教司牧評議会後に具体的な活動を開始する。なお、カリタス・ジャパンとは別組織である。

話は、教皇への感謝を込めてのものであった。回勅の中で教皇は、表面的な生き方がよく見られる現代の世界において、「心」が必要であることを強調している。



乾杯の挨拶は中村彰神父(右)の発声で

ニューズが紹介された。まず、ミラノ外国宣教会よりフェルッチョ・プランピッラスカ神父が新たに福岡教区に派遣されたこと、次に、ルーカス・レック神父がこのたび福岡教区司祭として正式に入籍したことが紹介された。

最後に、聖体を顕示してイエスの愛の心を味わった司祭たちは、久しぶりの新年会として、昼食を共にしながら兄弟としての心の交流を深めた。

福岡教区人事異動

〔内は現任地、順不同〕

小教区 〔2026年4月12日付〕

櫻井尚明師(手取・帯山教会主任)

小倉教会

中村彰師(司祭の家)

黒崎・天神町教会

金洞完(キム・ドウカン)師

〔仁川教区、日本語研修〕

大名町教会助任

ルカ全魂訓(ルカ・ジョン・ソクン)師(箱崎教会助任)

ドミニコ修道会

箱崎教会

フアン・ヴァン・チュエン師

(大名町教会助任、聖ビンセンシオ・ア・パウロ宣教会)

小郡・鳥栖教会助任

グエン・タン・ヒ師(神言修道会)

伊万里・多久教会

伊万里・多久教会

Advertisement for 'みこころ舎' (Mikokorosha) featuring a nun and contact information for a building company.

Advertisement for '株式会社 森山工務店' (Moriyama Kogyo) for general construction services.

Advertisement for 'サンパウロ 福岡宣教センター' (San Paolo Fukuoka Mission Center) with contact details and a QR code.

春からの新生活に向けて 福岡教区神学生 ヨセフ・ヴォ・タ・フォン

去年5月、ベトナムのヴィン教区にあるフランシスコ・ザビエル神学校の予科と哲学科を修了し、その後、去年7月に福岡に戻ってきました。日本語を約5か月復習した後、11月終わりと12月初めに、日本語能力試験と日本カトリック神学院の入学試験という二つを受験しました。皆様のお恵みと皆様のお祈りによって、合格することができました。今年4月に、日本カトリック神学院（東京）に入学する予定です。これは、私がキリストの真の弟子となる歩みにおいて、新しく、そして重要なステップであると感じています。

正直に言うと、今の気持ちを言葉で表すのはとても難しいです。喜びもあれば、不安もあります。神学校への入学が許可されたことは、私にとって大きな喜びであり、同時に新たな責任の始まりでもあります。



神学校の前で（左：フォン神学生）

しかし、言語の壁（日本語）は私にとって、これまで決して簡単ではありませんでした。神学院での授業も容易ではありません。キリストに従う決意が弱まったように感じた瞬間も正直ありました。とるで長い間色あせていた恋の情熱が再び温められたように、新たな力と希望を感じています。司祭への道は単なる自己実現ではなく、神と人々に仕えるための招きであることを改めて深く悟りました。

これからの道のりには、言語の壁、文化の違いなど、多くの困難が待ち受けているでしょう。しかし、それらすべてを通して、私はより謙遜に、より強く、より愛に満ちた司祭へと形づくられていくのだと信じています。

全教会と心を合わせ「世界奉獻生活の日」を祝うにあたり



はにかみながらも、召命を生きる人々のために祈る小さな聖職者と修道者たち

召命を生きる人々のために共に祈る

奉獻生活の日に感謝ミサ

福岡教区では1月31日、アペイヤ司教の主司式、16人の司祭による共同司式で感謝ミサが捧げられ、約200人が集った。

ミサに先立ち、いくつかの修道会と聖職者の紹介が行われ、子ども用に仕立てられたそれぞれの祭服や修道服をまとった子どもたちが少し恥ずかしそうな表情で登場すると、大聖堂は温かい微笑みと拍手に包まれた。

説教の中で司教は「世界奉獻生活の日」は、奉獻生活という賜物を与えられた神に感謝し、その召命を生きる人々のために祈る日。信仰を生きる根本はイエスの弟子として生きることであり、信徒、聖職者、奉獻生活者、すべての召命は同じように尊い。それぞれが互いに尊敬し支え合うとき、教会が活かされてくる」と語った。また、使徒的勧告『奉獻生活』に基づき、奉獻生活者は現代社会にイエスの

1月24日、小倉教会で北九州地区宣教司牧評議会の社会



124人が集った映画上映会

北九州地区社会福音化委員会 映画「私は憎まない」上映会

生活方を思い起こさせる使命を受けていると述べ、奉獻生活の特徴として次の3点を挙げた。

①三位一体に対する信仰告白。奉獻生活者は神の美しさに魅了された人。②兄弟愛のしるし。共同生活を通して人を結ぶ福音の力を証しすること。③愛の奉仕。誓願により自由にされ、必要とする人々

に自分を与え尽くすこと。参加者からは「司教様の話、修道会・聖職者の紹介は良い教理教育だった。可愛い聖職者・修道者の姿に将来への希望の祈りが湧き上がった」「自らの召命を育んだ幼少期の記憶を蘇らせてくれた」などの声が聞かれた。

カノッサ修道女会 Sr.清田陽子

「わが子を戦争によって失った悲しみと憤りは想像もできないが、『私は憎まない』という信念を最後まで貫き、イスラエルとパレスチナの平和と共存を願う一人の親、人間としてそれを実践している勇氣に深い感動を覚えた」「心が壊れてしまっような映像に、今も続いている破壊が現実として受け止めきれない気持ちになります。平和を享受

「わが子を戦争によって失った悲しみと憤りは想像もできないが、『私は憎まない』という信念を最後まで貫き、イスラエルとパレスチナの平和と共存を願う一人の親、人間としてそれを実践している勇氣に深い感動を覚えた」「心が壊れてしまっような映像に、今も続いている破壊が現実として受け止めきれない気持ちになります。平和を享受

情報共有し、パレスチナ・ガザ地区ジャバリア難民キャンプ出身で、産婦人科医としてイスラエルとパレスチナ双方の出産に携わりながら、活動していたイゼルディン・アラブエーシ博士の人生をたどった。博士は、最愛の娘3人と姪をイスラエル軍戦車の砲弾で失うという悲劇に見舞われる。しかし博士は、この凶弾に対しても憎しみではなく、人間には尊厳があり、皆が平等であることを訴え、真の平和を求め続けた。

2月11日、熊本地区宣教司牧評議会主催の「大人のための研修会」が手取教会で開かれ、地区内の各小教会から130人を超える信徒が参加した。午前はアペイヤ司教から「未来に開かれた教会・青年たちの歩みを支える教会」についての講話があり、午後「青年たちから、青年たちへ」をテーマに申東輝神父（手取・帯山教会助任）が進めてきた青年たちの活動について、4人の青年による報告と分かち合いが行われた。

活動報告を行う熊本地区青年会会長の東家さん（中央）

大人のための研修会 未来に開かれた教会になるために青年たちと共に

アペイヤ司教は宣教司牧方針の3番目「未来に開かれた教会」となるために、青年たちの居場所の必要性を訴えた。将来に夢を持つ若者は教会に何を期待しているのか。何のために生きるのか。誰のために生きるのか。喜びや不安があっても各人には神が定めた道がある。祈りの中で喜びをもって確認することが大切である。社会的地位やイデオロギー、利己主義的な心が人生の妨げになるが、フランシスコ教皇は、「青年たちは自分自身にしかできないことを持つていく」と言われた。15歳で亡くなった聖カルロ・アクティスは「人は皆オリジナルな存在として生まれてきたのに、多くの人はコピーとして生きていく」と言った。天の父はあなたを愛し支えてくださる。希望と喜びをもって生きるよう呼びかけた。

午後、申神父が25人になった熊本地区青年会について話し、会長の東家一平さん（帯山教会）から1年間の活動報告があった。「仁川にこう」と韓国との交流を深め、「教会とは、信仰とは」との問いへの答えとして「教会は皆が集まる場所」「分かち合いの場」「神様が温かく迎えてくださる場」「教会に行くことが仲間になる」「生活の一部」などの声で紹介された。最後のミサで、アペイヤ司教は「言葉には力がある。人を励ます。慰める。人の心を傷つけることもある。教会は人を生かすところで裁くところではない。生活の中で、生活を通して祈るところに真実がある。希望をもってしっかりと生きてほしい」と励ました。

包囲され、破壊し尽くされた街に生きるパレスチナ人の叫びは、今も私たちの心に響いている。

北九州地区社会福音化委員会

り、教会は子どもや青年が無事にいられる場所であると強調した。楽しく過ごし、人間として成長し、イエスとのつながりを感じる場でもある。教会共同体の一員であり2030年先の教会を支える存在で、やがてバトンタッチの時期が来る。さらに、神との関わりで大事なものはイエスとのつながりで、イエスを好きになることであると続けた。

午後、申神父が25人になった熊本地区青年会について話し、会長の東家一平さん（帯山教会）から1年間の活動報告があった。「仁川にこう」と韓国との交流を深め、「教会とは、信仰とは」との問いへの答えとして「教会は皆が集まる場所」「分かち合いの場」「神様が温かく迎えてくださる場」「教会に行くことが仲間になる」「生活の一部」などの声で紹介された。最後のミサで、アペイヤ司教は「言葉には力がある。人を励ます。慰める。人の心を傷つけることもある。教会は人を生かすところで裁くところではない。生活の中で、生活を通して祈るところに真実がある。希望をもってしっかりと生きてほしい」と励ました。

り、教会は子どもや青年が無事にいられる場所であると強調した。楽しく過ごし、人間として成長し、イエスとのつながりを感じる場でもある。教会共同体の一員であり2030年先の教会を支える存在で、やがてバトンタッチの時期が来る。さらに、神との関わりで大事なものはイエスとのつながりで、イエスを好きになることであると続けた。

キリスト教一致祈禱週間 合同礼拝

「大変です！我々は最も愛する方の体をバラバラにしまいました！いったいどうしてこのようなことをして平然としていられるのでしょうか？」

枢機卿になられた菊地功大司教様（東京大司教区）が、かつて何かの本に書かれていたこのような文を、昨年目にしました。エキュメニズム運動に対する無関心をユーモラスに、しかし痛烈に問いかけているのです。

現代のキリスト教会には、過去の負の歴史を精算し、イエスの弟子同士が手を取り合うための7日間が用意されています。毎年1月18日から25日までの「キリスト教一致祈禱週間」です。この行事はカトリック教会の単独の行事ではなく、全世界のキリスト者たちがカトリック、プロテスタント、東方教会の隔てなく協働するのです。ちょうどイタリアではオリンピックが開催されていますが、それより大きなイベントです。

1週間のハイライトはもちろん、地方ごとに行われる一致祈禱会です。2026年の福岡では、1月18日、新築したての日本聖公会九州教区聖パウロ教会（福岡市中央区草香江）で行われました。主司式は昨年就任されたばかりの同教会の柴本孝夫主教様で、カトリックからは中村彰神父様が共同司式に参加されました。

今年のテーマはアルメニアの教会が準備した「体は一つ、霊は一つです。」（エフェソ4・4）。説教には三田照雄牧師（鳥飼バプテスト教会）が立ち、「一つになるには謙遜、柔和、寛容が必要」とお話しされました。

年々参加者が減るよう思えるのが残念ですが、集まった者にはとても良い体験でした。



箱崎教会 糸川 銚 共同司式に臨む中村彰神父

ド・ロさま
らめん

Nagasaki Spaghetti
長崎スパゲッティ Since 1983

株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

右記URLからご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

